

琉球リースだより

# 新風

【mi-kaji】  
みーかじ

*40th Anniversary*

40周年特別号



お客様の“ありがとう”をエネルギーに四十年  
そして、これからも。

40<sup>th</sup>

おかげさまで40周年



# Contents

ごあいさつ	3
経営理念・行動指針	5
リース	7
オートリース	9
歴史・沿革	11
CS・CSR／お客様の声	13
CM	15
広報誌／琉球ゴールデンキングス	17
社員紹介	19
会社概要	21





取締役  
(中部支店長)  
具志 昌也

常務取締役  
(兼営業第一部長)  
古城 正彦

取締役副社長  
西銘 信治郎

代表取締役社長  
比嘉 朝松

常務取締役  
比嘉 朝旬

常勤監査役  
嶋 純一

取締役  
(営業企画部長)  
崎山 喜久雄

40th

琉球リースはりゆうぎんグループの一員として本土復帰の年に設立され、お陰様でこの度四十周年の節目を迎えることができました。これも偏に、関係各位の弊社に対する多くのご支持ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

弊社は復帰後の沖縄県の歴史とともに歩んで参りましたが、沖縄振興開発計画に基づくインフラの整備や観光立県に向けたソフト面の充実によるプラス面、国内外の大きな事件事故や自然災害等によるマイナス面など、いくつかの経済の浮沈を経験致しました。

今日では広く「リース」が認識されておりますが、設立間もない頃の営業活動や業務の確立に向けたエピソードを聞くにつけ、今日の基盤を確立して頂いた先輩方の並々なぬ努力もさることながら、先ずは弊社を信頼してお取引を頂いた多くのお客様への感謝に堪えません。

これまで、弊社は沖縄初のリース会社として、



監査役  
高良 幸明  
株式会社りゆうぎんディーシー  
代表取締役社長



監査役  
安田 幾夫  
株式会社琉球銀行  
常務取締役



取締役  
三木 修  
三菱UFJリース株式会社  
常務執行役員



取締役  
金城 棟啓  
株式会社琉球銀行  
代表取締役頭取

様々な取り組みを行って参りました。それぞれの時代における経営環境の変化への対応はもとより、お客様のニーズに素早く対応できることを目的とした組織や拠点の見直し、個々の案件に対するクイックレスポンスならびにCSへの取り組み等、時代に沿ったテーマにチャレンジし、現在に至っております。

「企業のあすを共に考える」琉球リースは、お客様の発展成長こそが琉球リースの発展成長に繋がると信じ、今後も県内ナンバーワンのリース会社として常にチャレンジし続けて参りますので、変わらぬご支持ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりましたが、貴社益々のご隆盛と役員員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成二十四年五月十日

代表取締役社長 比嘉 朝松

「琉球リースの一員」として、守り、宣言する心。  
お客様のために、自身のために、より良い明日のために。

「琉球リース」という企業のカタチに魂を入れる経営理念。  
迷ったときに力を与えてくれる行動指針。

同じ志とビジョンを携えて、私たちは歩を進めます。

四十年続いてきた道を、そして次の五十年、百年へと続く道を。

## 経営理念

私たちは、設備投資の総合サービス業として、

お客様が求める価値の提供を通じ

地域社会の発展に貢献します。

その実現のために自己革新に努めます。

針 一、お客様のより良い明日をとともに考えます。

方 二、良き企業市民として公正・誠実に行動します。

本 三、従業員にとって働きがいのある職場環境を創ります。

基 四、適正な利潤の確保と信用の蓄積に努めます。



琉球リースの役員は、経営理念・行動指針が記された  
名刺サイズのカードを常に携行しています。



## 行動指針

私は、琉球リースの役職員として

「熱い心」と「温かい手」で行動します。

私は、お客様に満足を提供するために、  
何事にもお客様の立場で考え迅速に行動します。

私は、お客様の良き相談相手となり、  
課題の解決に向けてきめ細やかな提案をします。

私は、常に仕事を改善し、  
弛まぬ向上心を持って自己研鑽します。

私は、「もの言う和」を創造し、  
チームワークによる総合力を高めます。

私は、協力し、感謝し、  
笑顔のある楽しい職場環境を作ります。

私は、すべての法令及びルールを遵守し、  
高潔な倫理感を持ち続けます。

私は、  
社会貢献活動に積極的に参加します。



## 県内全域

## いろいろなところでリース

あらゆる業種、あらゆる分野で

リースが利用されています。

琉球リースは設備投資をサポートし、

県内全域でお客様のニーズに応えます。



商業サービス設備他

情報通信・事務用機器

産業・工作機械

土木建設機械

自動車・輸送用機器

医療機器

24.0%

22.7%

3.7%

11.9%

31.2%

6.5%

業種別  
取扱高注：業種別取扱高ベース  
(2012年9月31日現在)

## 自動車・輸送用機器

- 乗用車 ●貨物車
- バス ●特殊車
- フォークリフト
- コンテナ ●パレット 他

## 医療機器

- X線診断装置 ●CT診断装置
- MRI装置 ●超音波診断装置
- 光学検査機器 ●検体検査装置
- リハビリ機器 他

## 商業サービス設備他

- 冷凍・冷蔵ショーケース
- POSシステム ●厨房機器
- 什器備品 ●自動販売機
- 空調設備 ●理化学機器 他





## 情報通信・事務用機器

- 大型コンピュータ
- パソコン
- サーバー
- ソフトウェア
- 電話設備
- ファクシミリ
- 複写機 他

## 産業・工作機械

- 食品加工機械
- 印刷機械
- 各種製造設備
- 工作機械 他
- 包装機械
- 金属加工機械
- 環境装置

## 土木建設機械

- クレーン
- 油圧ショベル
- 杭打機
- ホイルローダー
- モーターグレーダー
- ブルドーザー
- バッチャープラント 他

沖縄のオートリースの

歴史とともに。

県内トップクラスの台数は、

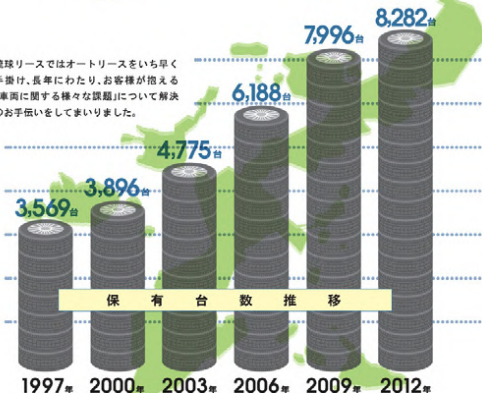
「お客様の信頼と支持」の証です。

県内  
トップクラスの  
保有台数

信頼と実績の  
歴史

お客様視点の  
サービス

琉球リースではオートリースをいち早く  
手掛け、長年にわたり、お客様が抱える  
「車両に関する様々な課題」について解決  
のお手伝いをしてまいりました。



注1. 新設販売台数を含みます。

注2. 基準日は各年3月31日現在です。

# いろいろなシーン・場所で、 琉球リースのクルマが活躍しています。



## 沖縄美ら海水族館

(財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団)

### 水族館作業車

黒潮の魅力をダイナミックに体感できる「沖縄美ら海水族館」。ここではリースで導入した水族館作業車を利用して、魚を運んだり、会場に設置するいけす網の積み降ろしなどを行っています。ときには無人潜水機(ROV)の積み降ろしにも威力を発揮。沖縄観光の目玉「沖縄美ら海水族館」の力仕事を裏でしっかり支えています。

## 株式会社 琉球新報社

### 移動編集車



りゅうちゃん号

## 株式会社 沖縄タイムス社

### 多目的取材車



フラビーGO!

ユニークなキャラクターが印象的な、沖縄タイムス社の「フラビーGO!」と琉球新報社の「りゅうちゃん号」。どちらも車中で編集から印刷まで対応可能な設備を搭載しています。これにより、取材現場からスピーディーに情報を発信！イベント会場や学校など、いろんなところで活躍しています。

## 浦添総合病院 (社会医療法人 仁愛会)

### ドクターカー



浦添総合病院では、救命率の向上や後遺症の軽減を図ることを目的に、2012年4月2日よりドクターカーシステムを始動。ドクターカーに同病院救命救急センターの医師・看護師・救命救急士が搭乗し、現場で直ちに治療を開始することができます。尚、ドクターカーは「緊急自動車」に指定されており、パトカーや救急車と同じようにサイレンを鳴らして走行することができます。

# ひと目で分かる 琉球リースの歴史



こんなこともあった、そんな時代もあった…。社歴に刻まれ、語り継がれてきたさまざまな出来事。でも、どんな時にも共通するのは「ポジティブ&チャレンジ」。琉球リースはこれからも一歩ずつ前進してまいります。

- 1972年
  - 5月 (株)琉球リース設立 資本金33万米ドル (本土復帰の日に、1ドル対305円にて日本円に変更)
  - 6月 琉球銀行本店内に仮事務所を開設し、事業を開始
  - 7月 本社事務所を星ビル(那覇市松山)に移転
- 1974年
  - 11月 琉球リース総合ビル竣工、同ビルに本社を移転、オフィス賃貸事業を開始
- 1975年
  - 6月 資本金110百万円に増資
- 1976年
  - 2月 琉球リース総合ビルに隣接するタワー式立体駐車場を取得し、駐車場賃貸事業を開始
  - 3月 リース・割賦販売契約高累計100億円達成
  - 11月 リース事業協会(賛助会員)に加入
- 1978年
  - (\* 国税庁、リース取引の処理基準となる税務通達を制定)
- 1982年
  - 4月 手形割引事業を開始
  - 5月 創立10周年
- 1983年
  - 1月 リース事業協会・普通会員に移行
  - 8月 医療機関向け大型パッケージリース(土地・建物・設備の一括賃貸方式)を組成
- 1985年
  - 3月 琉球セントラルビル竣工(琉球銀行との共同事業)
  - 4月 琉球銀行コザ支店共同ビル竣工(琉球銀行との共同事業)
  - 5月 中部営業所(現中部支店)を開設
- 1986年
  - 3月 リース・割賦販売契約高累計1,000億円達成
- 1987年
  - 12月 自社開発したリース電算システムをパッケージ化し、全国販売を開始

## 1 「フロンティア・スピリット」を源として、復帰の5日前に誕生。

琉球リースは県内初のリース会社として、本土復帰という歴史的な転換期に誕生しました。その年は我が国にリース会社が誕生してからちょうど10年目にあたり、ほとんどのリース会社が東京・大阪を拠点に活動していました。そのような時期に、琉球リースは、琉球銀行、会計事務所、商社、医療機器や自動車販売会社から集まった混成チームで、事業をスタートしました。

この頃はどこに行っても「リースって何?」と言われるのが当たり前で、リースがビジネス社会で全く認知されていない時代でした。このような状況にもくじけず、リースの仕組みを丁寧に説明していく中、徐々に仕事は増え、沖縄振興策によるインフラ整備や海洋博による建設ブームもあって、業績は順調そのものでした。

## 2 時代の流れをつかみ、スクスク成長大志を抱く青年に。

1980年代、リースは設備資金調達手段のひとつとして企業に広く認識されるようになり、琉球リースの成約高も拡大の一途をたどりました。リース・割賦販売の年間成約高は、設立から9年目で100億円の大台に乗り、さらにはバブル景気の1990年初頭にはついに300億円を突破しました。

また、事業も拡大し、融資、不動産、物販、リゾート事業など多角化を図り、さらには海外展開も視野に入れるなど、華々しい時代でした。

- 1988年 (※国税庁、リース期間の上限を規定する税務通達を制定)
- 7月 資本金 290 百万円に増資
  - 12月 資本金 346 百万円に増資
- 1992年 5月 創立20周年
- 1993年 12月 湘球ビルマネジメント(現湘球総合保険サポート)を設立し、同社に不動産事業を移管
- 1998年 (※国税庁、リース取引に関し、税務通達を廃止し、法人税法施行令により規定)
- 2000年 4月 オリックス・オートリース㈱(現オリックス自動車㈱)とオートリースに関する業務提携を締結
- 2002年 3月 ダイヤモンドリース㈱(現三菱UFJリース㈱)と出資を含む業務提携を締結
- 5月 創立30周年
  - 6月 ホームページ開設
- 2003年 2月 県内リース業界初、リース料債権証券化による資金調達を実施
- 2004年 2月 T K C 金融保証㈱とリースに関する業務提携を締結
- 3月 県内リース業界初、沖縄振興開発金融公庫からリース料債権担保による資金調達を実施
- 2006年 10月 当社社員を中小企業大学校に研修派遣(2009年9月に再度実施)
- 12月 ダイヤモンドオートリース㈱(現三菱オートリース㈱)とオートリースに関する業務提携を締結
- 2007年 9月 C S 調査(リース会社の利用に関する調査)を実施
- 2008年 (※リース会計基準・税制改正により、リース取引の処理が大幅に変更)
- 5月 地銀リース業務研究会に加入
  - 8月 広報誌「新風」を創刊
- 2011年 1月 湘球銀行、三菱UFJリース㈱と医療介護分野に関する業務提携を締結
- 3月 リース・割賦販売契約高累計 5,000 億円達成
- 2012年 5月 創立40周年

### 3 足元を見つめ直し、内なる進化に動んだ修行のとき。

1990年初頭、バブル経済の崩壊は、県内でも大型倒産を誘発し、企業の経営環境を一変させました。琉球リースにおいても、例外ではなく、変革の時期を迎え、早期退職制度の実施や支店・営業所の統合などの経営再構築を実行し、本業回帰を目指しました。

ただ、こうした状況下においても、次の一歩に向け、ますます高度化・多様化する企業のニーズに応えるため、企画提案力向上を目指し、大手リース会社などとの連携を図りました。そのほかにも県内初の資金調達手法を取り入れ、復活への土台を徐々に固めていました。

### 4 地域社会のために、未来永劫の働き盛りを目指す。

リストラ期を乗り切った琉球リースは新たな一歩を踏み出すため、自社の存在意義を見つめ、経営理念の見直しと行動指針の策定を図りました。それは顧客本位の徹底を経営の基軸とし、真っ先に声がかかる「ファーストコール企業」を目指すものでした。このような取り組みもあり、その後の「リース会計基準・税制改正」「リーマン・ショック」などの難局に際しても、基本スタンスを崩すことなく、持ち前の提案力と行動力で無事乗り切ることができました。

これからも琉球リースは、県内企業の良きサポーターとして、創業時のチャレンジ精神を忘れることなく、前進を続けていきます。

# 琉球リースアクションNOW

今をみつめながら次のこと。動く、考える、そしてまた動く。  
40周年の今、私たちは次のことに力を注ぎ活動しています。

## 1. すべての基本、お客様満足(CS)の向上

当社のキャッチフレーズ「企業のあすを共に考える」は、「お客様の発展成長こそが琉球リースの発展成長に繋がる」ことを意味しており、当社ではCSを経営の基軸として、以下のとおり取り組んでいます。

### ① お客様の声(ご意見・苦情など)を商品やサービスの改善に活用

- ・CS推進会議の開催 (お客様の声の把握、改善策・CS施策の検討と実施)
- ・苦情トラブルへの対応 (受付から解決までの迅速かつ適切な取り組み)
- ・CS調査の実施 (お客様の声の収集とCS評価)

### ② お客様に対する有益な情報・サービスの提供

- ・提案事例集の活用 (社内から収集した好事例・ノウハウの共有、提案力の向上)
- ・広報誌「新風」の発行 (当社とリースに関する情報発信)

## 2. 次代の医療・介護を考え、いち早く

当社は、地域社会のインフラとして、ますます重要性が増している「医療・介護」分野について、以下のとおり取り組んでいます。

### ① 総合的なサービス提供体制の構築

2011年1月に当社、琉球銀行、三菱UFJリースの3社間で「医療介護分野についての業務提携」を締結しました。この提携により、3社それぞれが持つ商品やノウハウ・情報・ネットワークなどの強みを活かし、一体となって医療機関・介護施設の様々なニーズに応えることができるようになりました。今後も3社が協働して幅広いサービスを提供し、医療機関・介護施設が抱える経営課題の解決に寄与していきます。

### ② 医療機関向け商品の開発

医療機器販売会社、医療関連団体との連携により、医療機関の業務負担軽減ならびにコスト削減に繋がるサービス商品を企画し、リリースしました。

### ③ 介護施設向け商品の開発

介護施設の業務負担軽減を目的として、新たなサービスをブラスした「車いす仕様車」のリース商品を企画し、リリースしました。この商品は介護施設の現場スタッフの声をカタチにしたもので、従来対応が難しかった「リフトの点検整備・故障修理」「リフト付き代車の提供」を組み込み、介護施設が本来業務に注力できる環境づくりを支援します。



## 3. 東日本大震災復興支援のために

当社は、被災地の復興支援として、現在までに以下のとおり取り組んでいます。

### ① 被災地に対する支援

2011年3月に琉球銀行及び当社を含む関係会社共同で、被災地に飲料・食料・日用品などの救援物資を提供しました。また、リース会社としての特色を活かし、2012年3月に被災地の学校にリースが終了したパソコン72台を点検整備のうえ寄贈しました。

### ② 被災されたお客様に対する支援

資金繰りをサポートするため、当社への支払いを一定期間倍子しました。





# お客様の「ありがとう」が 私たちのエネルギーです。



これは、琉球リースに届けられたお客様の声。  
ありがたく、嬉しく、前進する力になります。  
どんな時も「お客様にとって何がベストか」を考え、行動する。  
これからも決して変わることはありません。



## 小売業 Y 社様

ある設備を導入しようと、琉球リースを含む複数のリース会社に見積を依頼。他社が次々と見積書を提出する中、琉球リースのAさんは「設備の特性からリースの対象にはならず、税務当局からリース取引を否認される可能性がある」とアドバイス。そこで顧問税理士に確認したところまさに指摘通りで、結局リースによる導入を断念しました。自分たちの商売がダメになっても、取引先のことを第一に考える姿勢にとても感心しました。

## 製造業 I 社様

ある事業に興味があり、ちょうど訪ねてきた琉球リースのBさんに、この事業に関する情報がないかと尋ねたところ「調べてきます」と前向きな返事。正直なところ、そんなに期待はしていなかったのですが、後日Bさんが持ってきた情報は驚くほど。この事業に詳しい研究者や事業に関する設備の取扱会社まで、詳しく教えてもらいました。聞けば県にも問い合わせを行ったとのこと。当社のためにそこまで対応してくれたのかと、胸が熱くなった一件です。

## 小売業 R 社様

通常ならリースの対象にならない設備を導入するため、複数のリース会社に声を掛けましたが、予想通り各社否定的な返事。そんな中、琉球リースのCさんから理由を尋ねられ、詳しい事情を話すと「社内検討する」と約束。後日、Cさんはいくつかの資料を並べて「この条件を満たせばリースは可能です！」と解決策を示してくれました。取引先のために何とかしたいという姿勢と、それを実際に解決する力は本当にアッパレです！

## 運輸業 H 社様

ある新規事業を計画していた頃、補助金が得られることもあって多少楽観的に考えていました。そんな折り、琉球リースのDさんに話をしたところ、私に代わって、この事業を所轄する官公庁に出向き、この事業が全国的に不調であること、場合によっては補助金の返還が生じることなど、いろいろな情報を入手。決して片手間でできる事業ではないことを知り、すぐに断念。もしあの時、Dさんの親身の対応がなかったら…。言うまでもありません。

## 小売業 R 社様

当社は琉球リースの自動車リースを利用しています。先日担当のEさんから、重量税が変更になったので、2台分の差額2千円を返還するとの案内がありました。たかが2千円、されど2千円。僅かな金額に関わらず、きちんと清算してくれることに、琉球リースの誠実さを感じます。これからも安心して取引できます。

※掲載にあたってはお客様に配慮し、内容を一部編集しています。ご了承ください。

# 40周年の心意気をカタチにした 〈新CM〉ただいまTVオンエア中!



琉球リリースでは、従来より周年事業の一環としてCMを制作しています。それは節目となる年に自社の存在意義を考え、新たなスタートを切る絶好の機会だからです。そして、40周年を迎える今年5月、2本のCMが完成しました。それでは、新CMがどのように企画されたのか、その舞台裏をお伝えします。

## CMプロジェクトチーム始動

琉球リリースのCM制作は、まず社内プロジェクトチームを立ち上げることから始まります。今回は社内募集に手をあげた若手・中堅社員が結集、昨年9月にプロジェクトチームがスタートしました。この中でメンバーは新しいCMがどうあるべきか自由闊達な議論を行い、ときにはメンバー自身で考えたCM案をもとに具体的なイメージを形作るなど、広告代理店との二人三脚で新CMの方向性を模索しました。

## メンバーのひと言で一気に加速

新CMのコンセプトは、メンバーの意見をもとに議論した結果、興内企業の良きサポーターでありたいとの想いから「沖縄の企業をリリースで応援したい」としました。尚、このコンセプトは創業当初から続いている「ていがねーさびらへお手伝いしましょう」の精神がベースになっていきます。

次にこれをどのように表現するかを決めていく必要がありますが、当初はこれだ!と思うものがなかなか見つかりませんでした。そんなとき、あるメンバーからこんなエピソードが披露されました。「お父さんの







CM撮影にご協力!

## 「がじまる診療所」

CM映像のひとつに、医療機関のシーンがあります。この撮影は、糸魚市西崎にある「がじまる診療所(内科・小児科)」様で行われました。診療時間外にもかかわらず、大嶋院長様、スタッフの皆様にご協力を頂き、おかげ様でいい映像を撮ることができました。ありがとうございました。

**【大嶋 雅規 院長のお話】** がじまる診療所は2011年8月に開院し、その際に琉球リースとの取引が始まりました。琉球リースから当院で撮影したいとの話があったとき少々驚きましたが、琉球リースの40周年記念CMということもあって、すぐに承諾しました。琉球リースにとって40年は単なる通過点、今後ますます発展し活躍することを期待しています。



これからも、琉球リースはCMを自社の行動宣言として取り扱い、信頼される企業を目指してまいります。

会社って、何する会社なの？と子供に聞かれ、上手く答えられなかった。と、この何気ない問いかけに何とか答えたい、30秒という短い時間の中で上手く表現できないか、ここにひとつの方向性を見出しました。また、別のメンバーからは、営業社員がお客様と接する姿を、背伸びしない普段着のままでも映像にできないか提案がありました。ただ、この案は業種毎に現場で撮影しなければならぬため、お客様のご協力が必要になります。そこで、何社かに事前相談したところ、各社から協力するとの前向きな返事を頂き、この案で行くことになりました。CM撮影はお客様の多大なご協力の下、無事終了し、その映像には社員11名の生き生きとした姿が映っています。



# お客様に役立つ情報をお届けします。

## コミュニケーション広報誌

### 「新風（みーかじ）」



第1号  
2008年夏



## モットーは「わかりやすさ第一!」

広報誌の発刊は、当社が2007年に実施したCS調査が契機となっています。お客様から「リリースに関する情報を提供してほしい」「契約後のフォローが足りない」という声を頂いたからです。そこで、決まったのが広報誌「新風」で、「琉球リリースの分身」をコンセプトに2008年の夏創刊しました。

奇しくも、創刊した当時はリリース会計基準・税制が改正されたばかりで、お客様から問い合わせが多く、また周りを意識してもわかりやすく書かれた解説書は皆無でした。これをどうやってわかりやすく伝えるか、制作スタッフは悩みました。検討の結果、業務処理のポイントを、架空の人物による会話の中に織り込むことにしました(上部見開き記事参照)。この記事は大変わかりやすいと好評で、お客様から本を読んででもなかなか理解できなかったが、この記事でスツと理解でき大変助かった、税理士から顧客に記事のコピーを配布したいなどの声を頂きました。

このわかりやすさは他の記事にも活かされ、今でも「新風」の第一の特長になっています。



リリースに関する情報・事例からビジネストピックスや沖縄ネタまで、ほとんどの記事を社内で執筆・編集しています。

### お客様の声 (新風アンケートから抜粋)

「優しい内容の広報誌が多い中、とても読みやすい。」

「ためになる記事あり、笑える記事あり、内容が充実している。」

「琉球リリースのアウトホームな雰囲気を感じとれ、好感が持てる。」

「毎回、とても楽しみに、次号も期待している。」



## 沖縄の元気印

一緒に、沖縄をもっと元気に！



活動するフィールドは違っても、  
沖縄に対する想いは同じです。

この度は、創立40周年おめでとうございます。  
日頃より、我がチームのオフィシャルパートナー  
として大変力強い応援を頂き、心より感謝申し  
上げます。

貴社と我々とは活動するフィールドは違  
いますが、沖縄に対する想いは同じです。  
「沖縄をもっと元気に！」

お互いに持てる力を出し合い、沖縄を一緒に  
盛り上げ、そしてそれぞれのNO.1を目指し  
ていきたいと思います。

今後とも熱い応援をよろしく  
お願い致します。

琉球ゴールデンキングス



琉球リースはこれからも、琉球ゴールデンキングス  
の応援とサポートを通し、スポーツが生み出す  
「興奮感動・情熱・勇気・希望夢」をとみにして、  
生き生きとした活力ある社会づくりに貢献し  
てまいります。

# 一挙公開! RLのマンパワー

# 社員図鑑

琉球リースは人でも創る企業。  
皆様のために、会社を動かして  
いきます。どうぞ末長いお付き  
合いをよろしくお願い致します!

- ①氏名 ②入社年  
③所属 ④メッセージ

従業員数

52名

18歳

① 阿古 真人 ② 1990年  
③ 営業第一営業一課 課長

50周年、100周年に向けて、頼れる琉球リース一員を目指して頑張っていきます。

15歳

① 宮城 實安弘 ② 1996年  
③ 車両技術課 部長

「琉球リースを創りて良かった」が最高の褒め言葉です。

14歳

① 大城 剛 ② 1995年  
③ 営業第二営業二課 副部長

入社以来多くの部署を転々とし学びを積み重ねました。これも皆さんのおかげに違いないように感謝しています。

12歳

① 山口 政則 ② 1993年  
③ 営業第二課 部長

入社29年目、仕事を通して出会ったお客様が私の財産です。これからもよろしくお付き合いください!

18歳

① 宮城 道雄 ② 1999年  
③ 中野文彦 次長

「リースを取られるのが企業じゃない。顧客の課題を解決する商品が面白い。顧客の課題が人の役に立ちました。」

15歳

① 知花 美英子 ② 1996年  
③ 営業第二営業一課

土曜日午後の仕事得りに誇りと快楽がやわやわリングに染み付く仕事が好きです。

14歳

① 大滝 隆 ② 1995年  
③ 営業企画部営業企画課 課長

20年と40年の記念誌制作に関わったのは奇縁。毎年10年ごとに読み返してみよう。

13歳

① 武島 白田 ② 1994年  
③ 車両技術課車両管理課 部長

50代をもっとノウハウに生かしたい。数人に感謝したいです。

2歳

① 宮古 久美子 ② 1973年  
③ 営業第一営業一課 主任

家の外に広がる世界。美しい夕日。オフィスから見えるあのイノラマは琉球リースの自慢の1つでした。

18歳

① 宮城 実輝 ② 1999年  
③ 車両技術課車両管理課 課長

「顧客と長年一緒に成長したリース会社としてこれからもコツコツ頑張ります。」

16歳

① 池田 道雄 ② 1987年  
③ 営業第二営業一課 係長

お客様が「ありがとう」私の希望と目標です。常にベストなリース制度の提供にデザイン致します。

14歳

① 城間 智 ② 1995年  
③ 営業管理部営業管理部 係長

40周年の節目に勤務開始から営業管理部へ異動。これもこれも感謝の気持ちで溢れ、感謝カードが届きます。

13歳

① 宮野 一雄 ② 1994年  
③ 営業第二営業二課 係長

リースの仕事を通してお客様の課題を解決したい。これからもお客様に寄り添ってまいります。

6歳

① 渡辺 純子 ② 1977年  
③ 総務課 部長

これからも地域社会に貢献できるよう努力に頑張っていきます。

18歳

① 伊礼 入み子 ② 1999年  
③ 中野文彦

私が入社時に誕生した若手社員課とデスクを兼べ、バリバリ続けて40周年を迎え、きっとこれからバリバリ続ける〜。

16歳

① 宮澤 敦 ② 1997年  
③ 総務課 部長

私も身も心も25年の節目の年、初の昇任、昇給、光栄に感謝します。

14歳

① 藤北 敏夫 ② 1995年  
③ 営業第一営業二課 係長

24年ぶりに再婚相手となったが、結婚もローラーも壊れず。すっかり帰属北太郎!

13歳

① 廣嶋 進 ② 1994年  
③ 営業第一営業二課 部長

ピリッとスパイスの効いた営業で少しでも多くの琉球リースファン作りをターゲットにしています。

10歳

① 比嘉 正武 ② 1991年  
③ 営業企画部営業企画課 組長兼員

創業40周年!今年も地域社会に貢献できる企業を目指したい!

18歳

① 長谷 麻子 ② 1999年  
③ 総務課 部長

入社24年目のベテラン社員ですが、これからも初心を忘れず第一歩頑張ります。

17歳

① 松本 幸子 ② 1999年  
③ 営業第一営業二課

今年も新たなメンバーが仲間入りしたので、気を引き締めて頑張っていきます。

14歳

① 神谷 麻 ② 1999年  
③ 営業第二営業二課 主任

入社29年目になります。これからもよろしくお付き合いします。

13歳

① 宮城 正武 ② 1994年  
③ 営業管理部営業管理部 課長

琉球リースに加入してから40年、リーディングカンパニーとして更なる発展を!

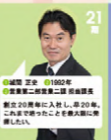
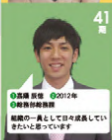
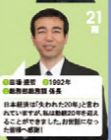
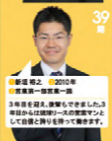
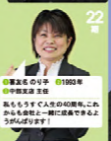
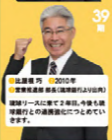
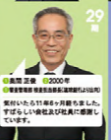
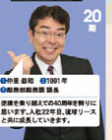
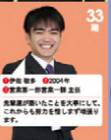
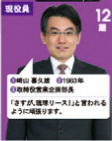
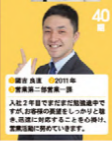
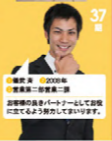
10歳

① 西島 治 ② 1991年  
③ 営業管理部 部長

創立時の小さな個人を育てたスピリットを忘れず、「大戦争時代」を勝ち抜きましよう!

40  
歳◎山本 幸恵 ◎2011年  
◎総務部長補佐「昨年2年目の日本です！毎日笑顔  
いっぱい頑張っています！」38  
歳◎大塚 明 ◎2008年  
◎総務部長補佐

「福島の元」これからも頑張ります！

33  
歳◎山瀬 昌希 ◎2004年  
◎営業第二部長兼一課 主任「社内マーケティングカンパニーの一体  
感として、わが社とお客様に貢献でき  
るようには第一頑張ります！」21  
歳◎山瀬 正史 ◎1992年  
◎営業第二部長兼二課 担当部長創立20周年に入社し、早20年。  
これまで培ったことを最大限に発  
揮したい。19  
歳◎松尾 大祐 ◎1990年  
◎中務主任私の座右の詩である20年寿寿。  
今年も新しい扉を開きともに誇りに  
感じたい。41  
歳◎高橋 健治 ◎2012年  
◎総務部長補佐「組織の一員として日々成長してい  
きたいと思っています」39  
歳◎岩野 浩之 ◎2010年  
◎総務部長補佐「現場の一端を担うことに感謝し、  
先輩の思いを引き継いでいきます」34  
歳◎山瀬 成寛 ◎2008年  
◎営業第二部長兼部長私も会社に負けないくらい、柔軟な  
対応になりたいです。21  
歳◎山瀬 成寛 ◎1992年  
◎総務部長補佐 部長「日本経済が『失われた20年』と呼ば  
れている中、私は入社20年を満  
ちたのであります。お役に立つ  
た後輩一掃！」20  
歳◎山瀬 成寛 ◎1991年  
◎営業第二部長兼一課 部長「お客様との出会いや喜びを大切に  
したい。思いで営業は取り返さ  
れません」41  
歳◎松尾 大祐 ◎2012年  
◎営業第一部長兼一課 主任「仕事にも一生懸命取り組み、笑み  
ながらできるよりに頑張りたいと  
思います」39  
歳◎山瀬 成寛 ◎2010年  
◎営業第一部長兼一課 主任3年目を迎え、発展してきました。3  
年目からは総務の一端を兼務マン  
として自前と誇りを持って働きます。35  
歳◎山瀬 成寛 ◎2006年  
◎営業第一部長兼二課 主任「営業に貢献されてまだ3年、これか  
ら今年も頑張りたいです」22  
歳◎山瀬 成寛 ◎1993年  
◎中務主任私ももうすぐ人生の40周年。これ  
からも会社と一緒に成長でき  
よう頑張ります！20  
歳◎山瀬 成寛 ◎1991年  
◎営業第一部長兼二課 部長「人という20代はまだまだ成長  
（会社への成長）の中で（社員への  
成長）も、共に進んで行こう！」41  
歳◎山本 幸恵 ◎2012年  
◎中務主任入社して1ヶ月、びびりながらの毎日  
ですが早く仕事を覚え頑張ります！39  
歳◎山瀬 成寛 ◎2010年  
◎営業部長 部長（兼総務部より内）「選手コースに来て2年目、今年も  
選手コースとの連携強化につとめて  
いきます」36  
歳◎山瀬 成寛 ◎2007年  
◎中務主任私の昔からの歴史をお客様と共に  
歩んできた選手コースをしっかりと  
支えていけるよう精進し元気に  
頑張ります！29  
歳◎山瀬 成寛 ◎2000年  
◎営業部長 部長（兼総務部より内）入社してから11年6ヶ月経ちました。  
すばらしい後輩社員に感謝し  
ています。20  
歳◎山瀬 成寛 ◎1991年  
◎総務部長補佐 部長「成績を乗り越えて40周年を  
迎えます。入社22年目、選手コース  
と共に成長していきます」9  
歳◎山瀬 成寛 ◎1990年  
◎常務取締役「阪風創業会社も人間も苦しい時  
代にも負けないで頑張ります。リス  
トアップの思いを胸に受けながら、  
お客様のために日々頑張ります」40  
歳◎山瀬 成寛 ◎2011年  
◎営業第二部長兼部長40年の歴史とともに、「企業のある  
真ん中の一員」として、厚く  
感謝いたします！36  
歳◎山瀬 成寛 ◎2007年  
◎総務部長補佐日々、感謝の心を忘れず、一日一  
日を大事に頑張りたいです。33  
歳◎山瀬 成寛 ◎2004年  
◎営業第一部長兼一課 主任先輩が培ったことを大事にして、  
これからも努力を惜みず頑張  
ります。20  
歳◎山瀬 成寛 ◎1991年  
◎総務部長補佐 担当部長入社22年目経ちました。心強い  
仕事と職場を誇ります！(笑)12  
歳◎山瀬 成寛 ◎1983年  
◎取締役営業部長「さすが、選手コース」と言われる  
ように頑張ります。40  
歳◎山瀬 成寛 ◎2011年  
◎営業第二部長兼一課 主任入社2年目をまだまだ勉強中  
ですが、お客様の責任をしっかりと  
担い、迅速に対応することを目指し、  
営業活動に努めています。37  
歳◎山瀬 成寛 ◎2010年  
◎営業第二部長兼二課 主任お客様の良きパートナーとして  
お客様に定めてまいります。33  
歳◎山瀬 成寛 ◎2004年  
◎中務主任 主任企業のあるすべりに専念して40年。  
これからもお客様への感謝の  
気持ちを忘れず頑張ります。20  
歳◎山瀬 成寛 ◎1991年  
◎営業第一部長兼一課 部長総務CMに2度出演し、名刺ともに  
選手コースの「星」になったかな  
と自負しております。これからも  
奮闘中で頑張ります！



## 株式会社 琉球リース プロフィール

## ■所在地

## ●本社

〒900-8550  
沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号  
琉球リース総合ビル10階

TEL.098-866-5500  
FAX.098-863-0381

## ●中部支店

〒904-0004  
沖縄県沖縄市中央1丁目1番10号  
琉球銀行コザ支店共同ビル6階

TEL.098-939-4880  
FAX.098-939-4882

■設立 1972年5月10日

■資本金 346百万円

■従業員数 52名

## ■役員

代表取締役社長 比嘉 朝松  
取締役副社長 西銘 信治郎  
常務取締役 比嘉 朝旬  
常務取締役 古城 正彦  
取締役 崎山 喜久雄  
取締役 具志 昌也  
取締役 金城 棟啓  
取締役 三木 修  
常勤監査役 嶋 純一  
監査役 安田 幾夫  
監査役 高良 幸明

■決算期 3月31日

## ■事業内容

- 情報通信・事務用機器、産業・工作機械、土木建設機械、自動車・輸送用機器、医療機器、商業サービス設備その他のリース、割賦販売業務
- 手形割引業務

## ■株主

- 株式会社琉球総合保険サポート
- りゅうぎん保証株式会社
- 三菱UFJリース株式会社
- 琉球セメント株式会社
- 株式会社リウコム
- 大同火災海上保険株式会社
- 株式会社琉球銀行
- 沖縄トヨタ自動車株式会社
- 株式会社沖縄海邦銀行
- 株式会社國場組
- 株式会社りゅういち
- 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株式会社みずほコーポレート銀行
- 株式会社琉僑ハウジング
- 株式会社人材派遣センターオキナワ
- 株式会社リウボウイングストリー
- 株式会社リウボウストア
- 株式会社沖縄ファミリーマート 他

## ■取引金融機関

- 琉球銀行
- 三菱UFJ信託銀行
- 農林中央金庫
- 商工組合中央金庫
- 沖縄県農業協同組合
- 沖縄振興開発金融公庫
- みずほコーポレート銀行
- あおぞら銀行
- 大同火災海上保険
- 日本生命保険
- 沖縄海邦銀行

## ■会計監査

與那城公認会計士事務所 公認会計士 與那城 盛三

## ■加盟団体

- リース事業協会
- 地銀リース業務研究会
- 沖縄県経営者協会
- 沖縄経済同友会
- 那覇商工会議所
- 沖縄商工会議所 他

## ■組織図

# お客様

### 専門・チャネル営業

車両推進部

営業推進部

### エリア営業

営業第一部

営業第二部

中部支店

### バックオフィス

営業企画部

審査管理部

総務部

常務会

社長

取締役会

監査役

監査役会

株主総会

## ■業績

単位: 百万円

項目	第1期 1973/3	第2期 1974/3	第3期 1975/3	第4期 1976/3	第5期 1977/3	第6期 1978/3	第7期 1979/3	第8期 1980/3	第9期 1981/3	第10期 1982/3
売上高	177	1,097	1,826	2,637	2,969	3,773	3,891	5,276	6,376	8,631
経常利益	-22	26	22	85	85	79	80	62	140	360
総資産増減	1,469	4,341	6,007	7,198	8,732	9,692	13,500	17,673	22,619	26,569
リース削減債権増減	1,516	3,377	3,729	4,445	6,072	6,822	8,991	13,302	17,640	20,203
リース新設成約高	2,142	2,835	2,210	3,042	4,245	4,410	6,320	8,984	10,192	11,190

項目	第11期 1983/3	第12期 1984/3	第13期 1985/3	第14期 1986/3	第15期 1987/3	第16期 1988/3	第17期 1989/3	第18期 1990/3	第19期 1991/3	第20期 1992/3
売上高	9,526	10,670	12,795	14,360	14,283	14,998	17,325	20,392	24,485	25,874
経常利益	465	475	256	154	127	396	596	339	396	316
総資産増減	33,848	43,884	59,141	61,987	72,032	83,993	99,705	120,150	131,149	132,693
リース削減債権増減	23,962	29,503	34,615	35,394	36,575	40,340	48,892	51,192	65,173	61,687
リース新設成約高	13,049	14,535	16,603	15,205	13,493	18,070	22,470	24,502	29,067	23,769

項目	第21期 1993/3	第22期 1994/3	第23期 1995/3	第24期 1996/3	第25期 1997/3	第26期 1998/3	第27期 1999/3	第28期 2000/3	第29期 2001/3	第30期 2002/3
売上高	25,442	22,637	19,886	18,360	17,334	17,564	16,529	15,667	15,174	15,067
経常利益	45	-495	493	778	1,358	1,214	1,305	806	1,053	1,266
総資産増減	125,172	113,686	91,863	82,996	77,614	75,758	67,730	57,000	53,883	49,730
リース削減債権増減	50,775	44,745	39,315	36,867	41,283	39,514	36,432	33,705	36,201	35,089
リース新設成約高	14,881	14,575	13,199	14,227	17,476	15,476	12,799	10,765	15,107	13,892

項目	第31期 2003/3	第32期 2004/3	第33期 2005/3	第34期 2006/3	第35期 2007/3	第36期 2008/3	第37期 2009/3	第38期 2010/3	第39期 2011/3	第40期 2012/3
売上高	17,541	15,803	15,782	15,178	15,600	14,672	11,172	11,495	11,919	12,045
経常利益	1,433	1,002	877	286	503	413	241	414	587	583
総資産増減	47,482	43,789	43,439	38,585	37,446	34,871	35,392	36,498	36,531	34,334
リース削減債権増減	35,486	34,259	34,114	32,320	30,958	31,694	31,629	30,964	29,857	28,938
リース新設成約高	14,236	13,114	13,703	12,650	13,480	13,862	14,082	13,027	12,066	11,215

株式会社——企業のおすを共に考える

 **琉球リース**